

保護者の皆さまへ 寝屋川支援校長室だより

令和3年3月24日 No.17
大阪府立寝屋川支援学校
校長 福井 浩平
准校長 阪本 友輝

振り返りますと、4月・5月は児童生徒のいない学校でのスタートとなった春でしたが、いよいよ今日今年度の修了式を迎えました。

新型コロナウイルス感染症に関して、マスクの着用・手洗いの励行等や行事等の度重なる変更に伴うご協力、また、感染拡大防止のためご来校をお控えいただく等、保護者の皆様にはなかなか学校にお越しただけでない1年となり、大変申し訳ない思いです。

またそれ以上に、子どもたちが日々安全安心に学校で過ごすための学校へのご協力に、感謝の気持ちでいっぱいです。

校長・准校長が着任して1年めの年度でしたが、先生方や全ての職員がチームとなって保護者の方々と連携を図り、この不透明な年度を何とか乗り越えることができ、寝屋川支援の底力を感じ続けた1年間でした。本当にありがとうございました。

次に子どもたちが登校するときには1学年進級して、新しい仲間を迎えての春となります。春休みの間、それぞれの新しいスタートに向け、ご準備いただきますよう、何卒よろしくお祈いします。

●修了式について

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、事前に撮影した「准校長のはなし」「校長のはなし」を学年・学級に分かれて見るといった形式で始業式・終業式等を行ってきました。本日の修了式で子どもたちに伝えた内容をご紹介します。

○准校長より

「小学部卒業式の日はこの動画を撮影したので、白いお祝いのネクタイをしています。このネクタイは、この大変な1年間を頑張っ、今日修了式を迎える皆さんへのお祝いの意味も込めています。修了式おめでとうございます！」「2か月遅れのスタート、短い夏休み、行事の変更、振り返るといろいろなことがあったと思いますが、どんな1年間でしたか。准校長先生は皆さんに出会えた幸せな1年間でした。」「春休みは体や気持ちを休憩させて、でもリズムを崩さず新しい学年の準備を進めてください。次は4月8日に元気な皆さんと会えることを楽しみにしています。」

○校長より

「今年度は新型コロナ感染症対策に始まり、新型コロナ感染症対策に終わった1年でした。そんな中、手洗い・マスクの着用・静かな食事など、皆さんは本当によく頑張りました。」「3月に入り各学部で卒業式がありました。参加ができなかった在校生もいますので、校長先生から卒業生に送ったメッセージを一部紹介します。『皆さんは本当に素敵な卒業生です。どうかいつまでも周りの人をほんわかとあたたくさせるそんな皆さんでいてください。そして、それぞれの進路先で、自分らしく、自分にしか出せない色で輝いてください。』『皆さんの1年間の成長は、周りの人の支えあってのことです。おうちや学院の人、周りの友達、先生方に、一年間の感謝を込めて『ありがとう』を言いましょ。』『春休みも『早起き・早寝』で規則正しい生活を送ってください。始業式に皆さんと会えるのを楽しみにしています。』

●1年間ありがとうございました

修了式の日朝、撮影した校門前の桜です。随分と色づいてきました。もうすぐ満開という感じです。

「12月24日付配付校長室だより14号」でもお伝えしましたが、今年度は、支援教育において「密」を避けることがとても難しいということを感じ続けた1年間でした。

よく聞いてきた言葉「ソーシャルディスタンス（社会的距離）」は、今は「フィジカルディスタンス（身体的距離）」にかわっているようです。春からも身体的には密を避け、心の距離は（親）密にして、保護者の皆様と連携し、子どもたちを育ていければと考えています。

写真の桜のように、子どもたち一人ひとりの花を咲かせていけるよう努めてまいります。今後ともよろしくお祈いします。

1年間本当にありがとうございました。

